

セミオート サイドオーニング 取扱説明書

この度は商品をご注文いただきありがとうございます。取り付けする前にこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しく製品をご使用ください。

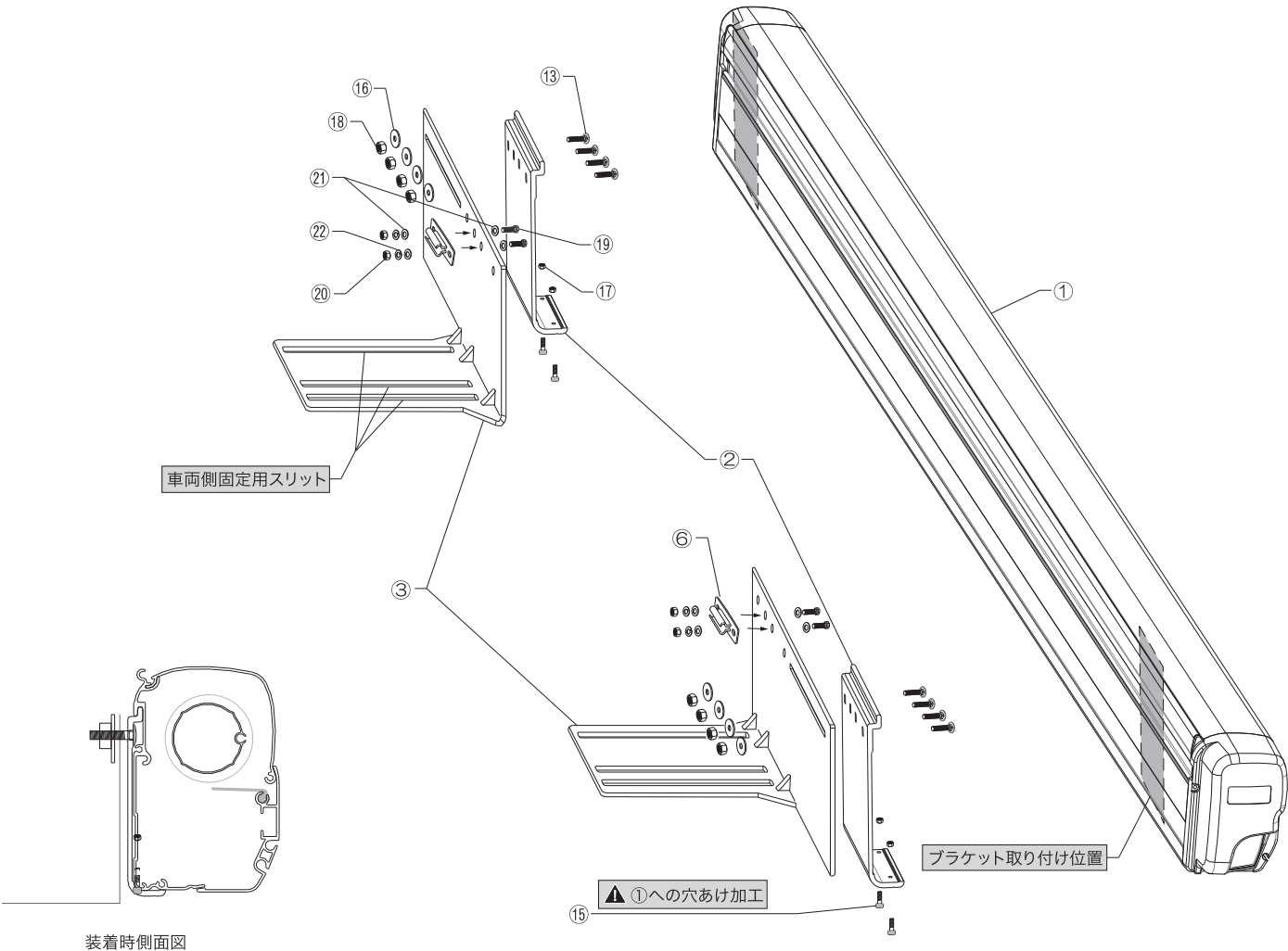
商品内容

番号	名 称	略 図	数 量
①	オーニング本体	—	1
②	オーニングプレート		2
③	汎用ブラケットA(左右設定あり)		2
④	汎用ブラケットB		4
⑤	クランクハンドル		1
⑥	クランクハンドル用ブラケット		2
⑦	フットブラケット		2
⑧	マルチハンガー		5
⑨	ロープ	—	2
⑩	タープ(マウンテンロゴ)	—	1

番号	名 称	略 図	数 量
⑪	S型カラビナ	—	2
⑫	ペグ	—	6
⑬	角根丸頭ボルト M6x15	—	10
⑭	プラスボルト M5x30	—	6
⑮	六角穴ボルト M5x15	—	6
⑯	六角ロックナット M5	—	12
⑰	六角ロックナット M6	—	10
⑱	六角ボルト M6x20	—	4
⑲	六角ナット M6	—	4
㉑	平ワッシャー M6①	—	16
㉒	六角ロックナット M5	—	12
㉓	六角ロックナット M6	—	10
㉔	六角ボルト M6x20	—	4
㉕	六角ナット M6	—	4
㉖	平ワッシャー M6②	—	8
㉗	スプリングワッシャー M6	—	4
㉘	六角ボルト M8x30	—	16
㉙	六角ナット M8	—	16
㉚	平ワッシャー M8	—	32
㉛	スプリングワッシャー M8	—	16
㉜	プラスチックワッシャー	—	4

※取り付け用ボルト類は予備として使用しない場合があります。

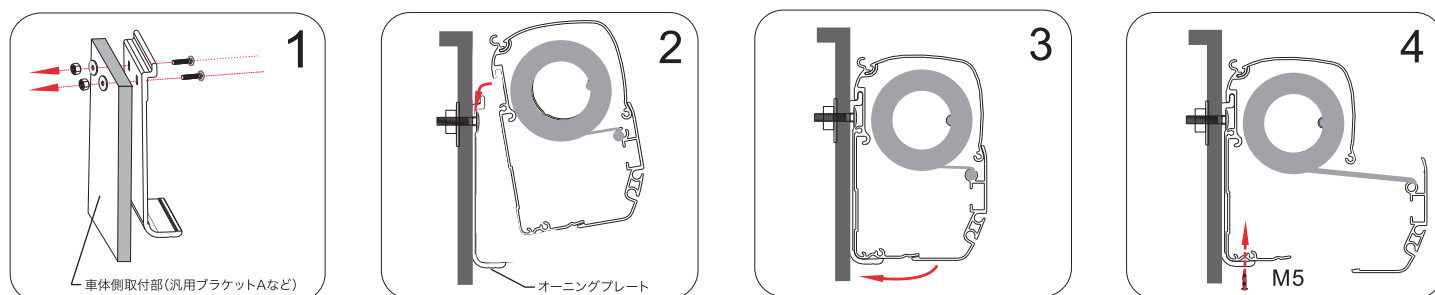
取り付け構造図



取付要領(シーエルリンクのルーフキャリア以外に取り付けるお客様)

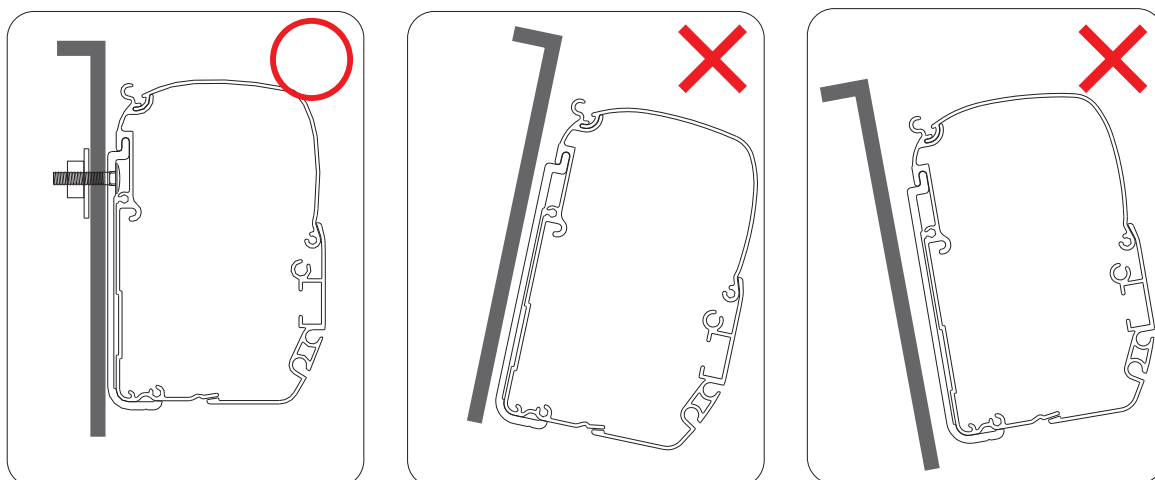
オーニング本体とオーニングプレートの結合

- ①オーニングプレートを車体に取り付ける。
- ②プレートにオーニング本体の上部を引っ掛ける。
- ③オーニング本体の下部をブラケットに押し当てる。
- ④オーニング本体に穴あけ加工をしてボルトで固定する。



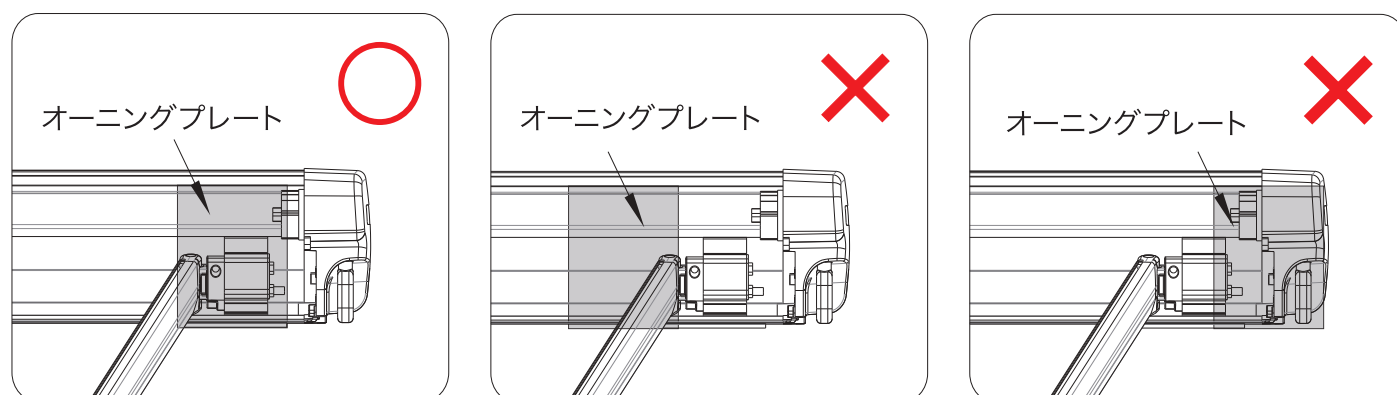
オーニング本体の取り付け角度

- オーニング本体は必ず車両側面と垂直になるように取り付けをおこなってください。
取り付け角度が誤った場合、日除けを出しにくくなったり、アームの故障の原因になります。



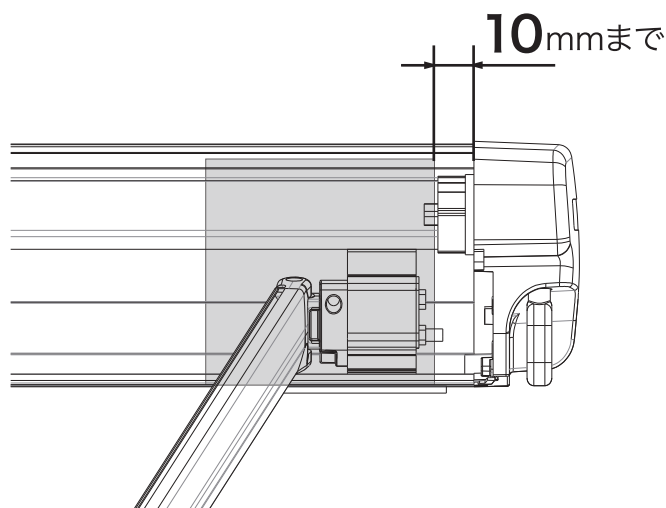
オーニングプレートの取り付け位置

- オーニング本体のアーム結合部全体にオーニングプレートが当たる位置で取り付け場所を決定してください。
適切な位置ではない場合、使用時に本体がねじれたり、早期にアームが破損する場合があります。

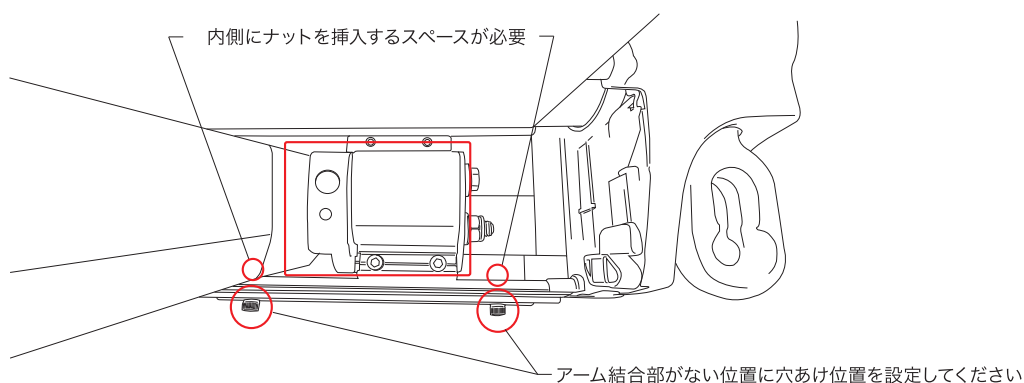


オーニングプレートの取り付け寸法

- ① オーニングプレートを実際にアーム結合部全体に当てるためには、プラスチック部分を除いたオーニング本体の末端から10mmまでの位置にオーニングプレートの端があるように装着してください。



- ⚠ 注意** 10mmの数値は参考値となります。穴位置のオーニング内側はボルトが突起して、ナットで締め付ける必要があります。穴位置がアーム結合部と干渉していないこと、作業のしやすさに十分に注意してマーキングをおこなってください。穴位置を誤った場合は取り付けが出来ず、再度穴あけ加工が必要となります。



- ② オーニングプレートの装着にはオーニング本体下部にドリルを使用して5.5mmの穴あけ加工をおこなってください。

- ⚠ 注意** 穴を開ける際は必ずオーニングを出した状態でおこなってください。格納したまま作業をするとドリルによりフット等を破損させる場合があります。

- 👉 POINT** 穴あけ位置の形状に丸みがあるため、センターポンチ等を利用して確実に穴あけをおこなってください。

汎用プレートを使用した取り付け間隔の種類

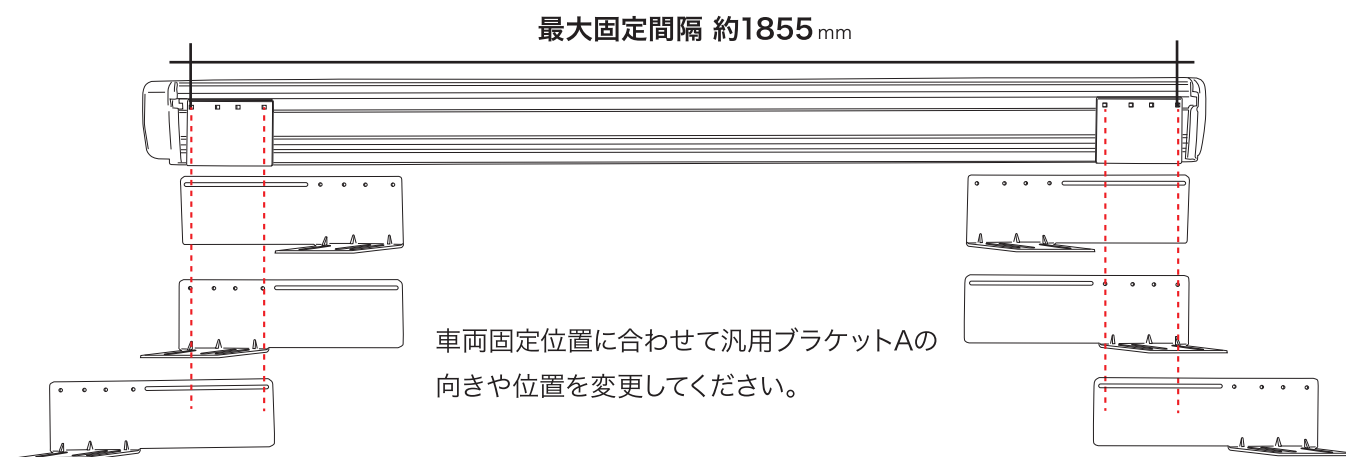
① 取り付けしたオーニングプレートに汎用ブラケットAを装着します。

装着する向き、位置により車両取り付け位置に合わせて間隔を調整したり、オーニングの取り付け位置を調整できます。

⚠ 注意 汎用ブラケットAを使用してオーニングを装着する場合、フットへの固定はオーニング本体が出来るだけルーフキャリアに近い状態で固定してください。車両から大きく離して固定した場合、ブラケットの破損、オーニングの落下等の重大なトラブルが発生する可能性があります。

⚠ 注意 汎用ブラケットAで確実な固定ができない場合は無理に使用せず、お客様にて別途ブラケット等をご用意ください。ブラケットには無理な加工をおこなわないでください。

👉 POINT ルーフキャリアのフットと本体の間に汎用ブラケットAを挿入して固定する場合、ルーフキャリア本体の高さ調整として汎用ブラケットBをご使用ください。



作業を終了する前に

① 製品取り付け完了後は必ず各所ボルトの緩みを確認して、オーニング本体がしっかり固定されていることを確認して作業を終了してください。

② 定期的に取り付けボルトの増し締め点検を実施して、安全に製品をご使用ください。

シーエルリンク ルーフキャリアへの取り付け手順

取り付け動画QR

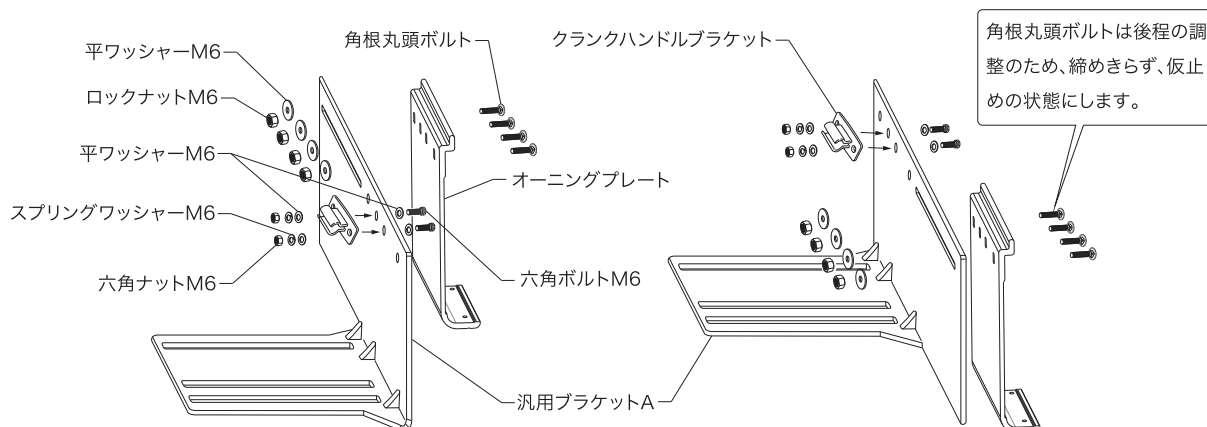
・右記QRの取り付け動画も参考に作業を実施してください。

※YouTube動画へのリンクとなります。



1 オーニングプレートとクランクハンドルブラケットの取り付け ※助手席側への取り付け手順

① 汎用ブラケットAにオーニングプレートとクランクハンドルブラケットを取り付けます。

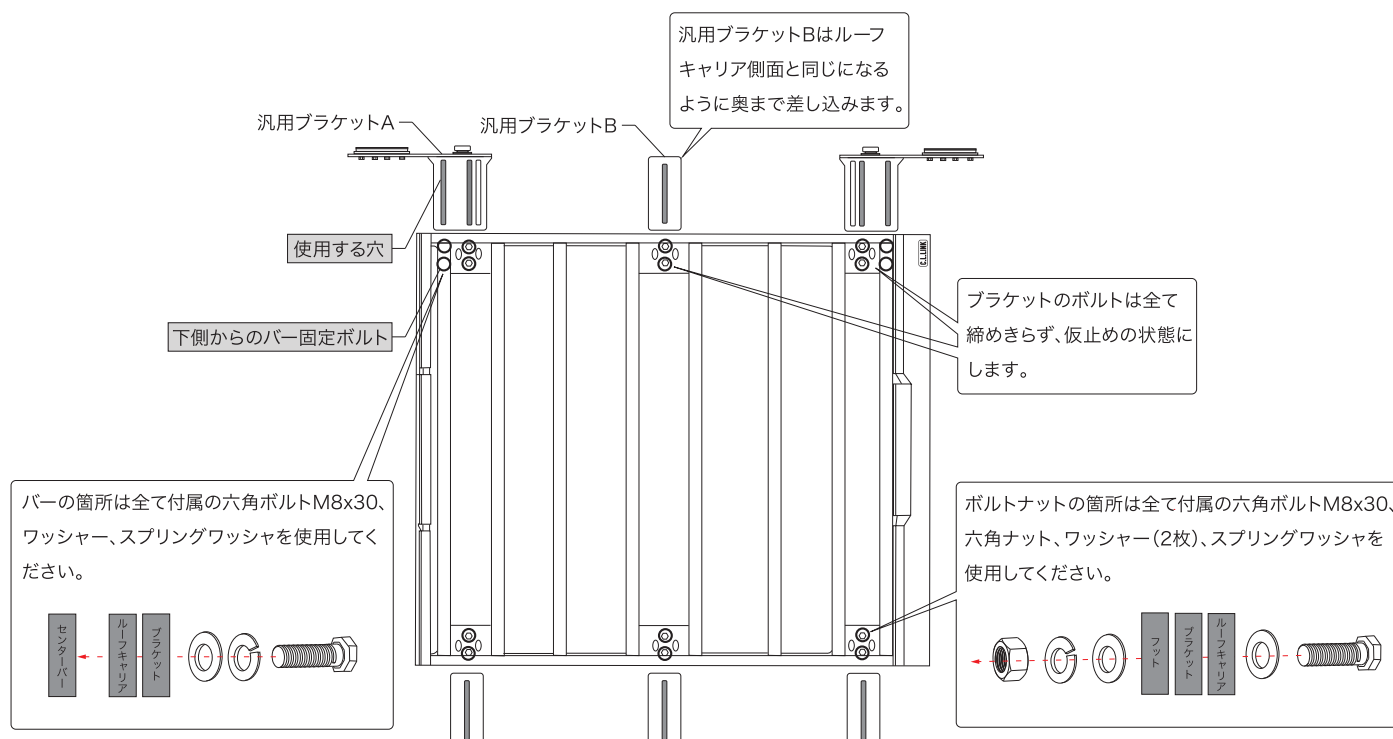


2 汎用ブラケットの取り付け

① ルーフキャリアへ汎用ブラケットAとBを取り付けます。

POINT 全ての汎用ブラケットは補強プレートとフットの間に入挿してください。

POINT 運転席側への取り付けは汎用ブラケットAを前後逆に取り付けします。



3 車両にルーフキャリアを載せる

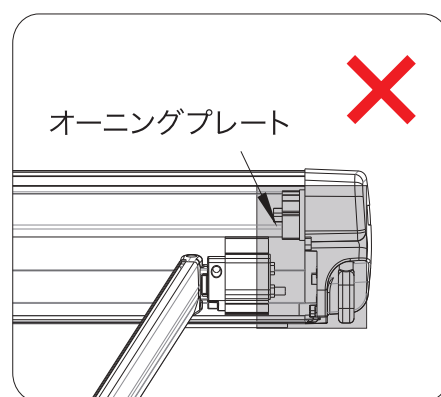
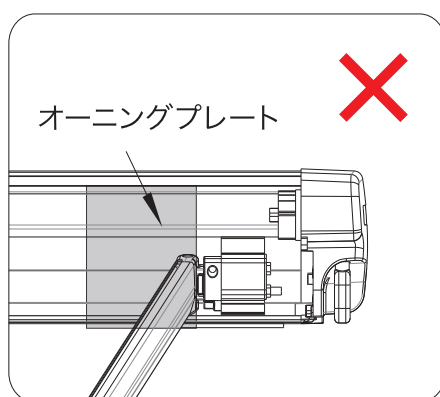
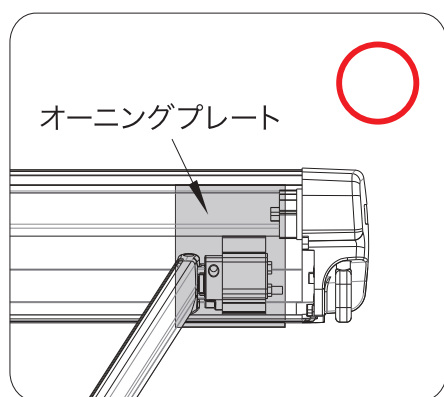
- ①ルーフキャリアを車両に乗せ、車両車両のレインガーターに合わせてフット位置を調整します。
- ②オーニングを取り付ける反対側のフットとルーフキャリアを固定するボルトを本締めします。
- ③固定用ブラケットBを落下を防ぐ程度で仮止めします。

⚠ 注意 車両に乗せる作業は危険ですので2人以上で作業してください。

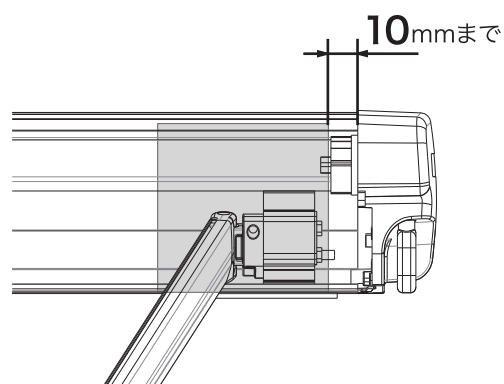
4 オーニング本体の穴あけ位置を確認する

- ①オーニング本体をオーニングプレートの上側に引っ掛け、下側をプレートに押し当てて車両に装着します。
- ②オーニングプレート下部にある2つの穴からオーニング本体に合計4ヶ所の穴位置をマーキングします。

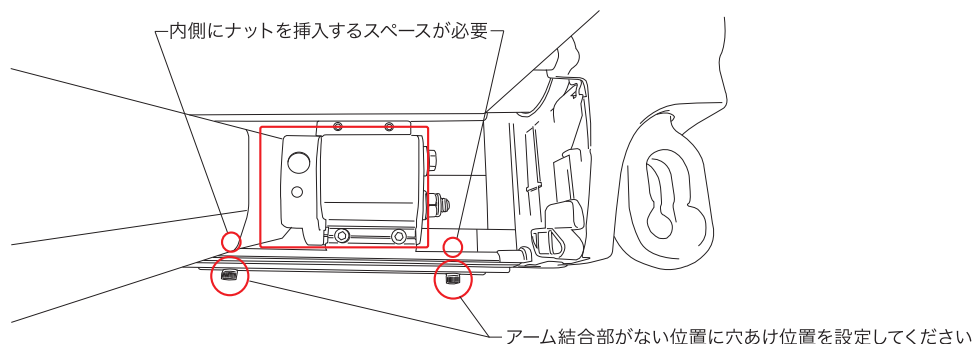
⚠ 注意 オーニング本体のアーム結合部全体にオーニングプレートが当たる位置で取り付け場所を決定してください。
適切な位置でない場合、使用時に本体がねじれたり、早期にアームが破損する場合があります。



POINT オーニングプレートを実際にアーム結合部全体に当てるためには、プラスチック部分を除いたオーニング本体の末端から10mmまでの位置にオーニングプレートの端があるように、マーキングしてください。



⚠ 注意 10mmの数値は参考値となります。穴位置のオーニング内側はボルトが突起して、ナットで締め付ける必要があります。穴位置がアーム結合部と干渉していないこと、作業のしやすさに十分に注意してマーキングをおこなってください。穴位置を誤った場合は取り付けが出来ず、再度穴あけ加工が必要となります。



5 オーニング本体に穴あけ加工をする

①オーニングを車体から降ろして、④でマーキングした位置にドリルで5.5mmの穴をあけます。

⚠ 注意 穴を開ける際は必ずオーニングを出した状態でおこなってください。格納したまま作業をするとドリルによりフット等を破損させる場合があります。

👉 POINT 穴あけ位置の形状に丸みがあるため、センターポンチ等を利用して確実に穴あけをおこなってください。

6 オーニング本体を装着する

①オーニング本体をオーニングプレートの上側に引っ掛け、下側をプレートに押し当てて車両に装着します。

②⑤で開けた穴とオーニングプレート下部の穴、4ヶ所を付属の「六角穴ボルトM5x15」と「ロックナットM5」を使用して固定します。

7 オーニング本体を固定する

①オーニングプレートと汎用ステーを固定する「角根丸頭ボルト」を本締めします。

👉 POINT オーニング本体の前後位置(オーニングのみの)を少し調整が可能です。好みのバランスに合わせて固定してください。

※後の工程でルーフキャリア本体でも全体の前後位置の調整が可能です。

8 汎用ブラケットを固定する

①汎用ブラケットAとルーフキャリアを固定するボルトを本締めします。

👉 POINT オーニング本体の張り出し量は安全のためルーフキャリアとブラケットが干渉しない位置で、最もルーフキャリアに近づけた状態で固定してください。

9 ルーフキャリアのフットを固定する

①ルーフキャリアと車両を固定する固定ブラケットBを本締めします。

👉 POINT 車両とオーニングの位置関係を好みの前後位置(ルーフキャリア全体)に調整して固定してください。

10 最終チェック

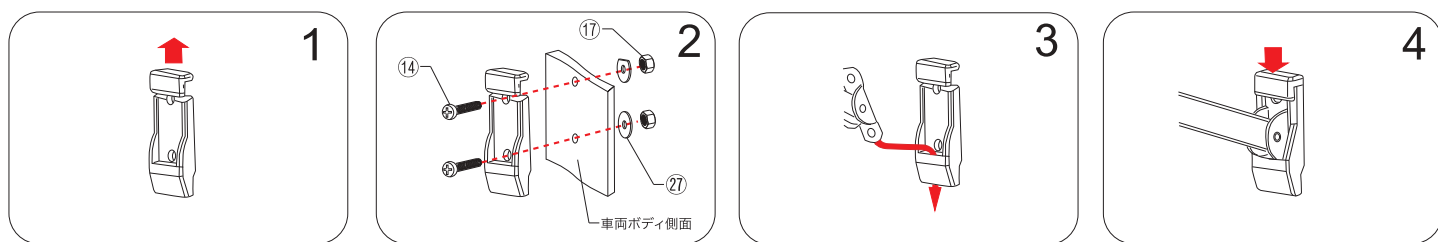
①各箇所のボルトの緩み、オーニング本体の固定不良の有無を確認して作業終了です。

その他付属部品の取り付け、使用方法

フットブラケット

オーニング使用時にオーニングのフットを車両の側面に引っ掛けることができるアクセサリ。足場が悪い時やフットを出すスペースがない時に使用します。

- ①フットブラケットの上部を引っ張り、ボルト装着部分を表に出します。
- ②任意の位置に5.5mmの穴あけをしてフットブラケットを取り付けます。この際にプラスチックワッシャーを裏側のスペーサーとして使用します。上側は一部切り欠きがあるタイプを使用します。
- ③オーニングのフットをブラケットに挿入します。
- ④上部を下に押し付け、ボルトを隠します。



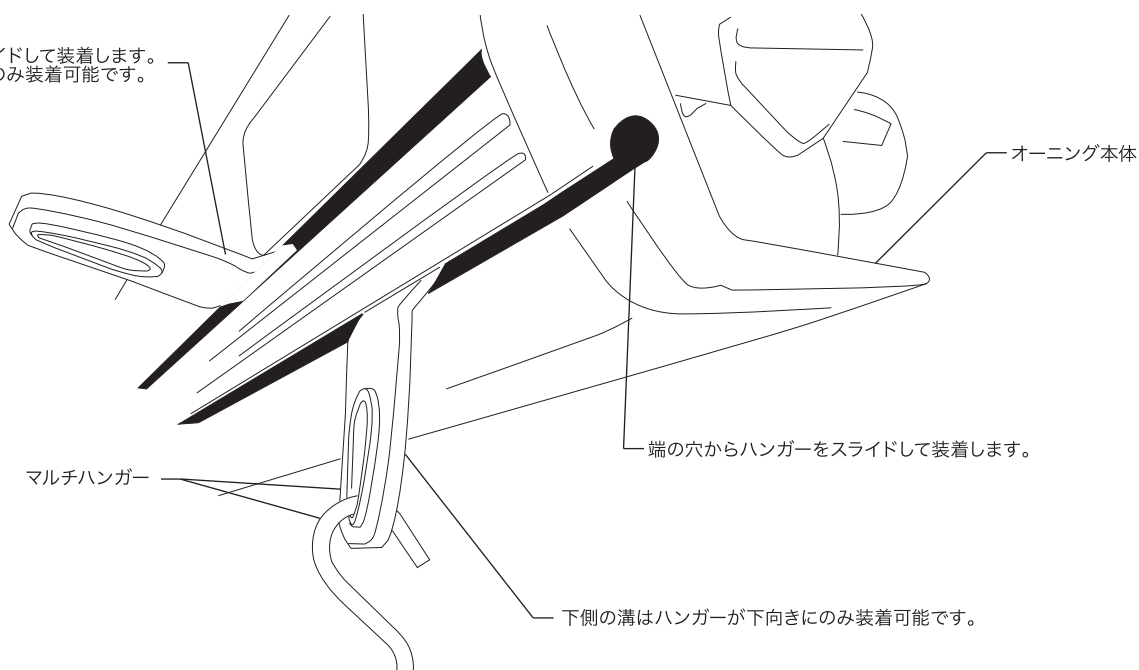
⚠ 注意 フットブラケットの装着は車両のボディに穴あけ加工が必要になります。

マルチハンガー

タープを追加してスペースを広げたり、ランタンを吊り下げたり、アイデア次第で様々な用途で使えるハンガー。

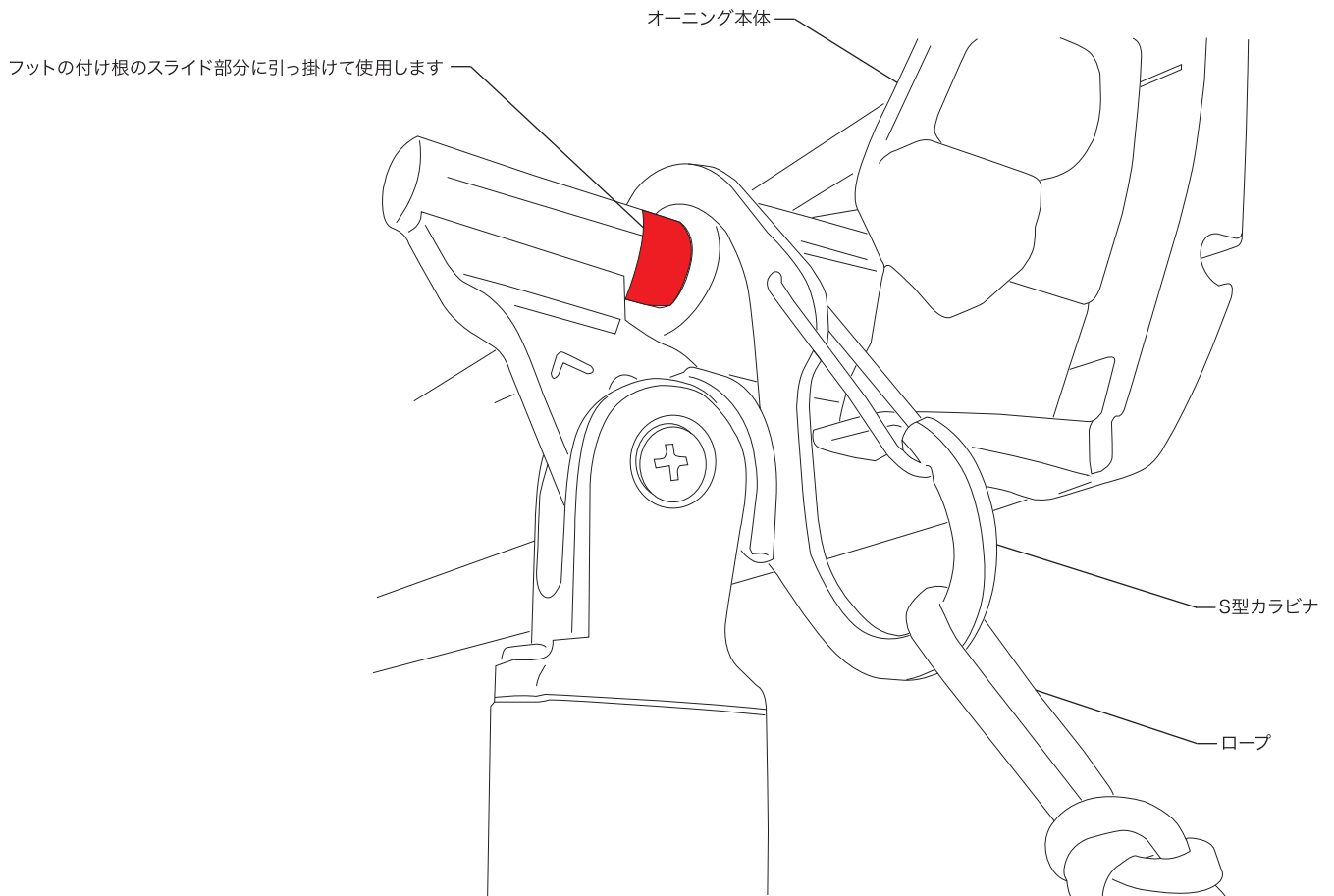
- ①オーニング本体前面の溝にスライドしてハンガーを取り付けます。
- ②ハンガーにS字フックを取り付けます。

上側の溝は反対側からスライドして装着します。
上側はハンガーが上向きにのみ装着可能です。



ロープでアンカーを取る際に、オーニング本体とロープを繋げる時に役立ちます。

- ①オーニングフットの付け根の部分に引っ掛けます。
- ②反対側にロープを通して、ロープを地面に固定します。



⚠ 注意

- 製品の取り付けは2人以上で作業をおこなってください。
- 指定の弊社ルーフキャリア以外に取り付ける場合は取り付け方法の指定はありません。安全に使用できる方法を作業者が判断して取り付けおこなってください。固定が不十分な場合は製品の落下等による死亡事故が発生する可能性があります。危険性を十分にご理解いただき、簡易的な取り付けや無理な取り付けにて製品を使用しないでください。
- オーニング使用時はペグとロープを利用して、必ず地面に固定して使用してください。
- 日除けを格納する前に濡れてないことを確認してください。どうしても濡れた状態で格納する場合は近日中に日除けを開いてしっかり乾燥させてください。濡れたまま放置するとカビなどの汚れや劣化のトラブルが発生する可能性があります。
- 使用中に雨が降った時はフットの高さを調整して日除けの左右の高さに差をつけて排水をおこなってください。日除けに水が溜まると破れなど破損の原因になります。
- 製品を装着したまま洗車機を使用しないでください。
- 製品の取付後、定期的な増し締め作業を行ってください。
- 強風時など使用に危険を感じた場合は直ちに使用を中止してください。
- 日除けの交換等を含め製品の修理用補修部品はご案内いたしておりません。あらかじめご了承ください。

C.L.LINK